





本城格先生略歴

大正5年10月24日三重県
に生る

本籍

現住所

学歴

- | | |
|--------|-------------------------|
| 昭和8年3月 | 大阪府立天王寺中学校第四学年修了 |
| 同8年4月 | 広島高等学校文科甲類入学 |
| 同11年3月 | 同校卒業 |
| 同11年4月 | 京都帝国大学文学部文学科イギリス文学専攻入学 |
| 同12年4月 | 同学同学部同学科フランス文学専攻へ専攻科目変更 |
| 同15年3月 | 学士試験合格 |
| 同15年4月 | 京都大学大学院入学，特選給費学生を命ぜられる |
| 同21年3月 | 同大学院退学 |

職歴

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 昭和16年3月 | 京都大学文学部副手を嘱託せられる |
| 同16年10月
～19年3月 | 同志社専門学校法律経済部講師を嘱託せられる |
| 同18年4月 | 第三高等学校講師を嘱託せられる |
| 同18年8月 | 臨時召集に依り野砲兵第五十三聯隊に応召 |
| 同20年9月 | 復員 |

- 昭和 21 年 3 月 京都大学文学部副手の嘱託を解かれる
- 同 21 年 3 月 昭和 21 年度京都大学文学部講師を嘱託される
- 同 21 年 4 月 大阪樟蔭女子専門学校教授に任ぜられる
- 同 22 年 3 月 昭和 22 年度京都大学文学部講師を嘱託される
- 同 23 年 3 月 願により樟蔭女子専門学校教授を免ぜられる
- 同 23 年 4 月 第三高等学校講師（常勤）に任命される
- 同 23 年 6 月 文部教官に任ぜられ、第三高等学校教授に補せられる
- 同 25 年 3 月 京都大学助教授に補せられ、吉田分校勤務を命ぜられる
- 同 32 年 5 月 京都大学文学部助教授に配置換えされる
- 同 37 年 1 月
～ 12 月 文部省在外研究員としてフランス国へ出張を命ぜられる
- 同 44 年 3 月 学術審議会専門委員に任命される
（任期は昭和 45 年 12 月 31 日までとする）
- 同 44 年 8 月 京都大学文学部教授に昇任せられる
（フランス語学、フランス文学講座担当）
- 同 55 年 4 月 定年により同学部教授を退任
- 同 55 年 4 月 同学部名誉教授
- 同 55 年 4 月 甲南女子大学教授に任ぜられる

学会及び社会における活動等

- 昭和 48 年 4 月
～ 51 年 3 月 日本フランス語・フランス文学会関西支部長
- 同 51 年 5 月 フランス政府より教育功勞勲章オフィシェ章授章される
- 同 53 年 6 月～ 日本フランス語・フランス文学会副会長

研究業績目録

著書

- 昭和 24 年 10 月 『世界文学入門』（林憲一郎氏と共著） 創元社
- 同 32 年 8 月 日本フランス語学会編集 フランス語学文庫 12, 解釈法

(伊吹武彦氏他と共著)

白水社

訳書

昭和39年 6月 ボードレール全集 第4巻 美術批評
(山村嘉己氏と共訳) 人文書院

論文

昭和17年11月 コルネユの理想 浄瑠璃雑誌
同 18年 9月 ラシーヌ 現代演劇 第6巻 第9号
同 26年10月 ロンサールのテキストについて
樟蔭文学第3号(樟蔭女子大学)
同 28年 3月 ロンサールについて フランス文学研究
同 28年10月 「フランス語の擁護と発揚」について
樟蔭文学第5号(樟蔭女子大学)
同 43年10月 Ronsard 研究序説—恋愛詩集の用語と文体を中心にして—
京都大学文学部研究紀要第12号
同 52年 5月 Ronsard の3恋愛詩集の比較語彙索引1
ヨーロッパ文学研究第1号(甲南女子大学)
同 53年 7月 Ronsard の3恋愛詩集の比較語彙索引2
ヨーロッパ文学研究第2号(甲南女子大学)